

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 11 月 25 日

多 治 見 市 議 会 議 長 様



会派名 新生自民

1 7 番議員 氏 名 林 美行

質問題名	インフレの時代、多治見市における財政運営の方向は
質問要旨	インフレ下においては物件費・委託費の増加、人件費の上昇圧力、社会保障関係費の増加、公共施設の維持管理・更新費用の増加により歳出への増加圧力が增大するとともに、歳入においても市民税、固定資産税は遅れての入になるとともに、一時的な収入である依存財源も恒久的財源になりません。このため、財政運営は計画的かつ臨機応変の対応が求められるものと考えます。 インフレの時代、多治見市における財政運営の方向について伺います。
質問項目①	中長期的な視点での財政計画・どの程度の期間を想定すべきか。
質問項目②	財政規律の維持はどのように担保できるか。
質問項目③	予期せぬ物価変動に対応するためには、年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金が大切と考えるが、どのような見通しとなるのか。
質問項目④	特に、物価上昇は賃金上昇圧力につながるものなので、人件費に対する考え方に特に注意しなければならないが、どのような対応となるのでしょうか。
質問項目⑤	財政運営は計画的かつ臨機応変の対応が求められる。このため、財務条例を一時棚上げにすべきではないのか。
質問項目⑥	一番大切な視点は、生活する市民を支援することで、地域での消費を縮小させないよう、生活者と中小の事業者をしっかりと支援する視点が必要になるのではないのか。
質問の相手方	市長、企画部長